

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
ハンバーガー、ホットドッグを 作ろう ～イメージを膨らませて～	小	グループ学習 低学年 すみれ・れんげ (図画工作)	河合和代

<ねらい>

- ・手元をよく見てタンポで色付けしたり、指先を使って紙を巻いたり、テープを貼ったりして具材を作る。
- ・ハンバーガーやホットドッグをイメージして制作を楽しむ。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

(ハンバーガー)

- ・ハンバーグ・トマトは、教師が作った紙粘土の上から、タンポで濃い茶色や赤色の絵の具を付けていきました。レタスは、黄緑色の画用紙を破り、そこにタンポで色付けしました。
- ・目玉焼きは、白厚紙に黄色いシールを貼っていきました。裏に緩衝材を教師が貼り、フライパンで焼くときにフライ返しでひっくり返しやすいうようにしました。
- ・チーズは、教師が正方形のフェルトを準備しました。

(ホットドッグ)

- ・ウインナーは、オレンジの画用紙の上に丸棒をのせ、指先を使ってくるくると巻き、テープを貼りました。
- ・ゆで卵は、丸い白厚紙の中に黄色いシールを貼りました。レタスは、ハンバーガーで作った物を使用しました。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

・ハンバーガー・目玉焼きは、本物のフライパンで焼く遊びを取り入れました。どの児童もイメージにつながり、自分で作った具材を嬉しそうにフライ返しでひっくり返したり、慎重に皿に入れたりする姿がありました。できあがった具材を教師が準備したバンズやパンに自分ではさみ、食べる真似をして楽しみました。作る活動をする前に、本物に近い『パンどうぞ』の絵本を読み聞かせをし、つまんで食べるやりとり遊びを行った後に取り組んだこともイメージにつながり、良かった点としてあげたいと思います。絵本の中にホットドッグがなかったため、ページを増やし、具材とできあがりのページを作りました。また、教師が準備したバンズは紙粘土で作り、パンもスポンジで本物に近い色合いで仕上げたこともイメージや意欲につながり、良かったと思います。



<その他(材料、費用、購入先等)>

- ・アクリル絵の具、紙粘土、色画用紙、シール(ダイソー)
- ・タンポは、R1ヨーグルトの容器を利用しました。

